

平成30年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	4. 岩富・寺崎線道路改良事業 (市道I-23号線)
項	2. 道路橋梁費	中事業	
目	3. 道路新設改良費	担当所属	道路建設課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	656,419
臨時	補助	計画	0	0	6,272	第5章 基本施策3 施策1	住環境が整備された住みやすいまちづくり	15,115
							交通環境の整備	193,694
							安心・快適な道路環境の維持管理を行います	139,434
								198,408
								109,768

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	106,290	
本年度当初査定額	106,220	130,598

財源内訳	国庫支出金	地方債	その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0	106,290	△106,290
本年度当初査定額	61,220	45,000	0	24,378

<事業に関する説明>

(事業の概要) 委託：用地測量、道路境界確定箇所杭設置、登記委託、 物件調査 用地・補償：用地買収、補償費 その他：印紙代	(事業の目的) 主要幹線道路である岩富・寺崎線を延伸整備することにより、市内と国道51号の交通アクセスの向上を図ります。	(事業の効果) 市の南北幹線道路である岩富・寺崎線の延伸整備により、交通アクセスの向上を図り、市民生活の利便性、産業振興などが得られます。
(事業実施上の問題点) 用地測量の際、民境界、道路境界が確定しないと、買収面積等の確定ができず、用地買収に着手できないという問題点があります。	(前年度からの見直し点) 平成29年度は用地測量のみ実施しましたが、平成30年度からは、用地買収を合わせて行います。	(見積についての特記事項) 不動産登記法の改正により、買収地のみでなく、その残地をも測量して境界や面積を確定し、図面を作製する必要があることから、測量面積が広大になり、その分の費用が加算されることになります。

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
11	65	40	25
13	61,533	49,000	12,533
17	50,000	55,000	△5,000
22	19,000	75,000	△56,000

款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源	14	02	05	01	01	社会資本整備総合交付金	61,220	61,220	89,880	△28,660
	21	01	05	01	02	幹線道路整備事業債	45,070	45,000	66,100	△21,100
差引一般財源							△106,290	24,378	△155,980	180,358